

高井 裕之  
法学研究科・教授

**【研究】**

医事法学に関して判例評釈を1本公表した。また、引き続きアメリカ憲法の動向を追う研究に力を入れたが、年度内に公表に至っていない。科研費による研究を含め、アメリカ公法の研究に関しては、資料の収集および論文の構想は熟しており、近いうちに公表できる見込みである。

**【教育】**

法学研究科博士前期課程学生1名の担任教員となり、また、後期課程学生3名を指導した。同研究科で春・夏学期開講の「憲法2」で英語文献を講読し学生の外国家研究の基礎の涵養に努め、秋・冬学期に「総合演習(比較人権論)」「特定研究(比較人権論)」で内外の人権判例を検討し、研究を指導した。法学部科目「Project Seminar in English」を担当し、学生による英語のプレゼンテーションを指導した。全学共通教育科目としては春・夏学期に「日本国憲法」で憲法に関する一般教育を行い、秋・冬学期に「現代の医療と生命を考える」で主として法的な観点から生命倫理問題等を取り上げ検討した。高等司法研究科で春・夏学期に隔週で「公法総合演習」の授業を行い3年生の憲法に関する応用力の増進を図った。本年度は対面授業が多くなったが、オンラインを併用する授業もあり、慣れてきたとはいえ、なお授業準備に時間を費すことが多かった。

**【管理運営】**

法学研究科運営委員会委員を務めた。また法学部教務委員会委員を務め、その業務として8月の法学部オープンキャンパスの実施に携わった。国際公共政策研究科協力講座を担当し、同研究科の教授会その他の会議に出席し、同研究科の運営に協力した。法学研究科・高等司法研究科共同の各室のうち、計画室等の室員を務めた。キャンパスライフ健康支援・相談センター倫理審査委員会および歯学部附属病院診療情報提供委員会それぞれの委員を務めた。

**【社会貢献】**

特に記すべきものはない。